



# 安中だより

【第18号】

令和8年 3月 11日

TEL 32-0057 FAX 32-4377

【文責 校長 浦島 容子】

## 卒業生102名、大きくはばたいて！

3月6日（金）、102名の生徒が安曇川中学校を卒業しました。地域の方々の温かいまなざしと保護者のぬくもりに包まれ、安曇川中学校から巣立ちました。



前日の卒業式予行会、校歌、式歌、式にのぞむ態度、どこを見てもすごくて、「明日はもうどうなってもいい」と思うほど感動的でした。

### 「卒業式予行会 式辞」

暖かくなつたと感じます。3月になったからかと思ったのですが、外はまだ風が冷たく寒い空気が流れています。しばらく前から1、2年生が3年生を思いながら三送会の準備を進め、昨日感謝の気持ちをここで伝えました。3年生はさらに感謝の思いで会場を盛り上げました。周りで地域の方と先生たちが精一杯、拍手を送りました。温かい空気が流れるはずです。明日はここにいるみんなが忘れることのできない幸せな日になると思っています。その思いを込めて、予行会の式辞とします。

そんな思いで迎えた次の日。卒業式は、予行会の比喩ものにならないほどに感動的でした。

全校生徒の心のこもった態度、言葉、歌声、どれをとってもすごくて、言葉では言い表せません。

会場のすべての人にとって幸せな時間となったことは違いありません。みんなが、卒業生に温かいエールの拍手を送りました。



## 卒業式 式辞

やわらかな春の陽ざしと温かい眼差しに包まれ、第七十八回高島市立安曇川中学校卒業式を挙げていくことを、とてもうれしく思います。102名の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。今ほど、卒業証書を手渡しました。卒業証書を手にする皆さん一人ひとりの姿はとても立派で、心から感動しています。

今、皆さんが手にした卒業証書、それは、世界に一つ、「あなただけの卒業証書」です。今日は、ご家族で、ゆっくりと見てください。最初の数字、伝統ある安曇川中学校の何番目の卒業生かを表しています。そして、大きな文字で、卒業証書と書かれています。次にあなたの名前です。名前の下にはあなたの生まれた日が入っています。どんな日だったでしょうか。あなたの生まれた日、その日が、どんな日であったとしても、あなたの周りで、たくさんの人が笑顔で喜んだ日だということは間違いありません。そして、あなたの名前には、家族の願いが込められています。どんな願いなのでしょう。その下には、あなたが本校の教育課程を修了したこと、卒業の日、と続いています。三年間の学校生活を力の限り頑張り、今日の日を迎えました。卒業証書はその努力の証です。

一番下には、私の名前です。皆さんに出会えたことはなによりも幸せなことです。一緒に過ごした時間が楽しすぎて、今とても複雑な気持ちです。ここ数週間はずっとその時間を振り返っていました。

やっぱり修学旅行。すべてが楽しい思い出ですが、最終日、妙高での民宿の方々との別れの時です。心尽くしのもてなしをくださった方々に、心から感謝を伝える皆さんの姿は、温かく優しい気持ちにしてくれたことが印象に残っています。

次に、最大の学校行事です。体育祭では、最強のエネルギーを感じた日でした。その最強のエネルギーを、部活動、駅伝やスキーの大会でさく裂させました。目標に向かって全力で、どんな状況でも最後まであきらめない、そんな瞬間がたくさんあり、思い出すと今でもワクワクします。そして、文化祭、最高学年のすごさを響かせた合唱。あの歌声から、「感動」以外の言葉は、いまだに見つかりません。

11月、感謝祭。誰も経験がなくゼロからのスタートだったにもかかわらず、「こうしたらどうかな」「やっておきました」、「やりますよ」、と頼もしい言葉と行動が次々と出てきました。皆さんの姿に感激した保護者や地域の皆さんが力を貸してくださり、安曇川町が一体となって、形無きものを形にし、安中史上初の行事を成功させました。自ら動き、みんなで創る、「主体性」の尊さを教えてくれました。

その後は、進路に向かうようになり、目標や夢を語ってくれるようになりました。大きく成長するのを見るうれしい日々から今日につながります。

今、地域の方が「中学生、よう挨拶してくれるようになったわ」と嬉しそうに話されます。「ようやってくれるよ」と、ボランティアの様子を聞くこともよくあります。地域に役立つ皆さんの姿が地域に広がっています。皆さんが、もたらせた変化です。安曇川中学校は変化を創り出す令和の学校へと変わりました。明日から皆さんの後輩たちが引き継ぎ、次の変化へと挑みます。後輩たちの活躍を見守ってください。

保護者の皆様、お子様のご卒業 おめでとうございます。立派な姿に、さぞお喜びのことと思います。「主体性の育成」を合言葉に、全力でお子様の成長を支えてきました。行き届かないところが多かったと思いますが、保護者の皆さまのご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。お子様は、これから大きな社会へはばたきます。今後のさらなる成長に向けてサポートをどうぞよろしくお願いいたします。

卒業生の皆さん、名残は尽きません。お別れの時です。もっと一緒にいたいと思いますが、もうかないません。素敵な時間を本当にありがとう。

夢に向かって大きく羽ばたいてください。皆さんのこれからの人生には幸せがいっぱい詰まっています。あわせて困難も詰まっています。幸せも困難をも、「笑顔で楽しむ」、これが人を強くします。人への感謝の気持ちさえ持っていれば、どんなことも笑顔で力強く乗り越えることができます。そして、一歩ずつ夢へと近づきます。皆さんなら大丈夫、信じています。さあ、次のステージで思う存分、力を発揮してください。ここから声援を送り続けます。活躍の知らせが届くことを心から願います。